

初のノウフク・アワード

優秀賞に16団体選出

来月10日に表彰式 先進事例を評価

農水省は12日、農業と福祉の連携（農福連携）の優れた事例を表彰する「ノウフク・アワード」の初の受賞団体を発表した。優秀賞に長野県のJA松本ハイランドやJA全農おいたなど、16団体を選んだ。受賞団体の中からグランプリと特別賞を選び、2月10日に東京都内で開催する表彰式で発表する。

JA松本ハイランド（長野）など

ノウフク・アワードは「農福連携等応援コンソーシアム」が主催する。同省やJA全中、日本経団連など、農業、経済、福祉の団体、省庁による推進し、全国展開や定

も官民を通じて初めて。

JA松本ハイランドは、JAが窓口となり、人手の足りない農家と作業を請け負える地域の福祉事業者のマッチング（結び付け）を行い、全国のJAでも先駆的な取り組みとして貢献している。

全農おいたは、障害者だけでなく女性や高齢者を含めた多様な担い手と農家のマッチングに県

食料供給は万全に

農相 緊急事態は状況注視

野上浩太郎農相は12日の閣議後記者会見で、緊急事態宣言に伴う農業への影響を巡って、2020年度第3次補正予算な

は「欠品などの報告は受けていない。食料の供給に混乱は生じなかった」とした。

関西3府県に緊急宣言

野上浩太郎農相は12日の閣議後記者会見で、緊急事態宣言に伴う農業への影響を巡って、2020年度第3次補正予算な

となつた3連休で、同宣言対象地域の1都3県で

域規模で取り組む。子ども支援ネットとも連携して、引きこもりなど若年層の生活困窮者を積極的

「農福連携」食べて

社会復帰を

法務省は12日、犯罪や非行をした人の立ち直りを支援する「立ち直りの#ワンプレー」トアクションの一環として、省内の食堂で初めて農福連携をテーマとした食事の提供を始めた。刑務所出所者や障害者が作った野菜を食材に使うのが特徴で、期間は22日まで。売り上げの一部は、罪を犯した人の社会復帰を支援

雇用調整助成金 不足の危機にひん

感染拡大で申請が不足の危機にひんする。2020年12月の支給決定額は

新スタートの年に

野上浩太郎農相は12日、農水省職員への年頭の訓示で「農林水産行政において

も新たなスタートを切りたい」と述べ、農林水産物・食品の輸出額5兆円に向けた実行戦略や、「ポストコロナ（コロナ後）」に向けた政策の検討などに力を入れる考えを強調した。米政策については「今年はまだに正念場」と強調した。



三念場も強調

も新たなスタートを切りたい」と述べ、農林水産物・食品の輸出額5兆円に向けた実行戦略や、「ポストコロナ（コロナ後）」に向けた政策の検討などに力を入れる考えを強調した。米政策については「今年はまだに正念場」と強調した。